

2 出生

(1) 出生数・出生率

平成 29 年の出生数は 5,109 人で、前年の 5,300 人から 191 人減少し、出生率（人口千対）は 7.5（全国第 21 位）で、前年の 7.7 を下回った。出生数、出生率ともに昭和 46～49 年の第 2 次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図 1）。

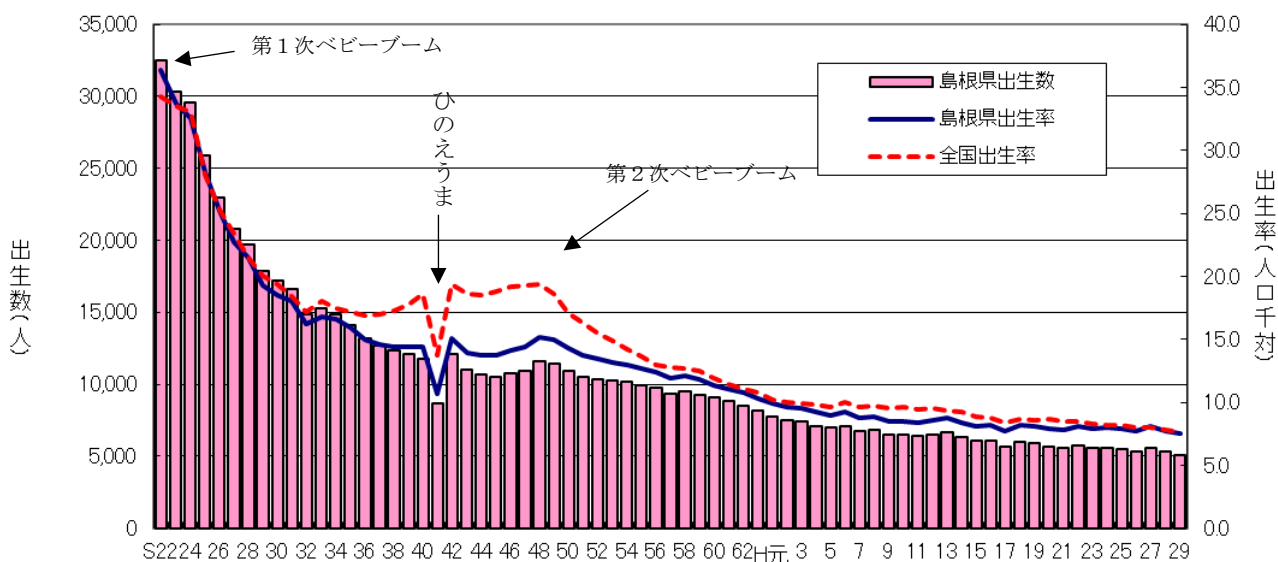


図 1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移

出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、30 歳～34 歳の階級のみが前年より増加し、その他の各階級では減少した（表 2）。

表 2 母の年齢（5 歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	27年－26年	28年－27年	29年－28年
総数	5,359	5,551	5,300	5,109	192	△ 251	△ 191
～14歳	1	－	1	－	△ 1	1	△ 1
15～19	69	57	70	38	△ 12	13	△ 32
20～24	471	539	472	459	68	△ 67	△ 13
25～29	1,659	1,542	1,537	1,361	△ 117	△ 5	△ 176
30～34	1,858	1,985	1,769	1,864	127	△ 216	95
35～39	1,055	1,156	1,152	1,136	101	△ 4	△ 16
40～44	238	266	292	247	28	26	△ 45
45～49	8	6	7	4	△ 2	1	△ 3
50歳以上	－	－	－	－	－	－	－

出生順位別にみると、平成 29 年はいずれの出生順位においても、出生数が前年より減少した（表 3）。

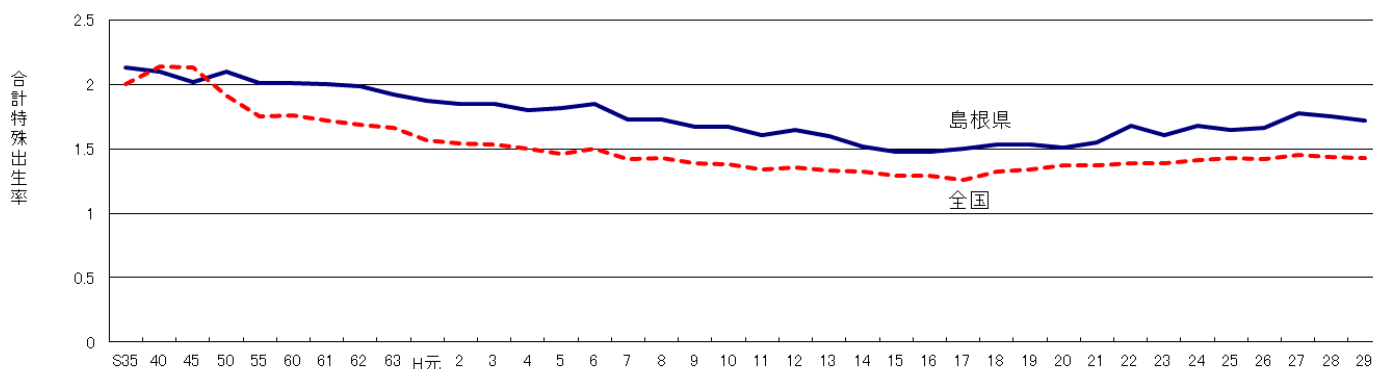
表 3 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	27年－26年	28年－27年	29年－28年
総数	5,359	5,551	5,300	5,109	192	△ 251	△ 191
第1子	2,319	2,306	2,190	2,025	△ 13	△ 116	△ 165
第2子	1,940	2,026	1,933	1,914	86	△ 93	△ 19
第3子以上	1,100	1,219	1,177	1,170	119	△ 42	△ 7

(2) 合計特殊出生率

平成 29 年の合計特殊出生率は 1.72 であった。全国と比較すると、昭和 50 年以降一貫して島根県が上回っており、平成 29 年の順位は全国第 3 位である（図 2）。

図 2 合計特殊出生率の年次推移



○算出方法

※1 ※2
「(母の年齢別出生数) ÷ (年齢別女性人口)」の 15 歳から 49 歳までの合計

※1 (母の年齢別出生率) = (分子): 「人口動態統計」(厚生労働省)

※2 (年齢別女性人口) = (分母): 「推計人口」(総務省、ただし国勢調査年は国勢調査における日本人人口)

母の年齢（5歳階級）別出生率の昭和45年以降の推移を見ると、年により多少の増減があるものの、概ね20歳代では低下傾向、30歳代では上昇傾向にある。平成29年は20～24歳、30～34歳、35～39歳の各階級で上昇し、15～19歳、25～29歳、40～44歳の各階級では下降した。（図3）。

図3 母の年齢(5歳階級)別出生率の年次推移

